

ふじた もとし  
**藤田 元司**(1931~2006)



**プロ野球選手。監督。**昭和6(1931)年、新居浜市出身。愛媛県立西条北高等学校(現、県立西条高等学校)を経て昭和27(1952)年に慶応義塾大学へ進学、投手として通算31勝をあげた。昭和31(1956)年に日本石油へ入社し、翌年、読売ジャイアンツに入団。1年目は17勝で新人王、2年目は29勝、その翌年には27勝で最多勝利、両年とも防御率2位という好成績で2年連続最高殊勲選手(現、最優秀選手)となった。巨人は昭和30(1955)年からリーグ5連覇を達成し、藤田は第二期黄金時代の末期をエースとして支えた。しかしその後、肩を痛めて昭和39(1964)年限りで引退、実働は8年という短い期間であった。選手として獲得した主なタイトルは、新人王、最多勝利1回、最高勝率2回、最高殊勲選手2回、ベストナイン1回。

昭和56(1981)年から昭和58(1983)年と、平成元(1989)年から平成4(1992)年の二度にわたって巨人監督を務め、リーグ優勝4回、日本一2回に輝いた。平成8(1996)年、野球殿堂入りした。

## 略歴

昭和6(1931)年8月7日	越智郡宮窪村四阪島(現、今治市)に生まれる(間もなく新居浜市に転居)。
昭和27(1952)年	慶応義塾大学へ進学
昭和31(1956)年	日本石油へ入社
昭和32(1957)年	読売ジャイアンツに入団。17勝で新人王を獲得
昭和33(1958)年	自己最多の29勝、防御率2位、最高殊勲選手(現、最優秀選手)を獲得 日本シリーズ敢闘賞獲得
昭和34(1959)年	27勝で最多勝利、防御率2位、最高殊勲選手を獲得。ベストナインに選ばれる。
昭和39(1964)年	肩を故障して引退
昭和56(1981)年	読売ジャイアンツの監督に就任。監督就任1年目でリーグ優勝 日本シリーズでは、昭和48(1973)年以来となる日本一に導く。
昭和58(1983)年	リーグ優勝を達成するが日本シリーズで、3勝4敗で敗退 助監督を務めていた王貞治に監督の座を譲る形で勇退
平成元(1989)年	読売ジャイアンツの監督に2度目の就任。就任1年目でリーグ優勝 日本シリーズでは日本一を達成
平成2(1990)年	リーグ2連覇を達成したものの、日本シリーズでは敗れた。
平成4(1992)年	監督を勇退
平成8(1996)年	野球殿堂入り
平成11(1999)年	読売巨人軍OB会会長就任(同15年まで)
平成17(2005)年	四国アイランドリーグ・愛媛マンダリンパイレーツアドバイザースタッフを務める。
平成18(2006)年2月9日	東京都世田谷区内の病院において心不全のため74歳で永眠

(写真提供：読売新聞社)

### 〈関連図書〉

- ・愛媛県百科大事典編集委員会『愛媛県百科大事典』 愛媛新聞社 1985年
- ・『愛媛県人名大事典』 愛媛新聞社 1987年
- ・松下茂典『ドンを越えた男』 ダイヤモンド社 1990年

〈主な収蔵資料〉…(P238, 192)

〈関連施設〉…野球殿堂博物館

〒112-0004 東京都文京区後楽1-3-61 東京ドーム21ゲート右 TEL: 03-3811-3600